

平成26年度版

京丹後市の教育



小学校駅伝大会に向け中学生が走り方を指導
(小中一貫教育の実践・網野北小学校にて)

京丹後市教育委員会

「平成26年度版京丹後の教育」発刊のことば

平成26年度の教育行政は、平成25年度から着手していました教育振興計画の策定をとりまとめ、3月には冊子として印刷とともに全戸へ概要版を配付することで、今後10年間の京丹後の教育振興の基本方針をお示しさせていただきました。

また、京丹後の最も大きな教育振興策であります小中一貫教育を、峰山中学校区、網野中学校区ではじめることができるなど、新たな教育の歴史が刻まれた年でもありました。

さらに、幼保一体施設として、峰山、弥栄及びかぶと山のこども園が開園し、各町域に幼稚園を設置できたことで、子育て支援、保育及び幼稚園教育の充実を図ることにつなげることができました。また、10ヶ所で開設した放課後児童クラブは年度当初に408人の登録があるなど、保護者の就労と子育て支援を推進してきました。

また、学校再配置計画により間人中学校と宇川中学校の再配置により丹後中学校が、溝谷小学校、黒部小学校、鳥取小学校及び野間小学校の再配置により弥栄小学校が、佐濃小学校、海部小学校及び川上小学校の再配置により高龍小学校をそれぞれ開校し、小学校20校、中学校7校の体制で新たなスタートをした年でもありました。また、網野中学校と橘中学校の再配置の協議も進み、平成27年度の新生網野中学校の開設に向けた準備も進めました。

社会教育関係では、学校支援地域本部事業として、地域総ぐるみで学校を支える学校支援ボランティアが、新たに46人の新規登録者を得て、470人にまで拡大し、学校で行う授業や行事、登下校時の見守りなどを支えていただきました。また、受講者数の多い高齢者大学を一本化するとともに、成美大学の支援を得て大学院を開設することもできました。社会体育事業では、市民のスポーツ実施率向上のため、ノルディックウォーキングの普及に努めました。

文化財保護関係では、平成27年度に京都文化博物館で開催する「大丹後展」に向けた準備を進めてきたこと、学校跡地を活用した民俗資料、絵画の展示施設としての構想を打ち立てたこと、丹後と東海地方の文化・方言の関係調査を進め、「丹後・東海地方のことばと文化～兄弟のようなことばを持つ両地方～」を発刊しました。

本誌「京丹後の教育」(教育要覧)の発行は今回で11年目となります。教育委員会活動を紹介する資料として、引き続き内容の一層の充実に努めてまいりたいと思いますので、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

平成27年9月

京丹後市教育委員会教育長 米田 敦弘



市の花「トウテイラン」

トウテイランは、8月から9月にかけて多数の青紫色の花を開く多年草であり、山陰海岸の砂丘に見られ、箱石砂丘の群落は「京都の自然200選」にも選定されています。

盛夏から秋にかけ、中国の洞庭湖（どうていこ）の湖水のように美しく神秘的な色の花を咲かせるトウテイランは、日本固有種で外国には自生しておらず、また、日本国内でも数か所にしか自生していない非常に貴重な花です。



市の木「ブナ」

ブナは、温帯林を代表する落葉広葉樹であり、雪にもめげず、春には他の落葉樹に先がけて芽吹きを始めます。

京丹後市には、山から里、そして海が1つの市の中で連続しているという特徴があり、森で育まれた栄養分が川から水田へ流れておいしいお米を育て、最後には海へ流れて、貝や魚等の生き物を育んでいます。



温暖化や森林破壊、人口爆発等、地球規模での課題に直面している今、気候を安定させ、多様な生き物を育み、「緑のダム」として水や食料を私達に与えてくれるブナ林は、まさに京丹後市の自然豊かな環境のシンボルと言えます。

市の歌について

未来を担う子どもたちが、ふるさとに対して興味や関心を持ちふるさとを誇りに思うことができる歌をめざし、市民の皆様に永く歌い継がれる歌、京丹後市に夢を持ち、活き活きと歌い継いでいける歌、そして希望を持ち、将来に向かい明るい展望が持てる歌となるように京丹後市の魅力をもりこんだ歌です。（作詞：梅田俊作 作曲：藤原哲也）



京丹後市歌

詞 梅田 俊作

一、海青く 緑の半島 風すよぐ
ゆぐりくる 季節のなかに いだかれ
描く夢 色鮮やかに いつまでも
ふるさと色は 君の原色

三、さんさんと 天（そら）に子午線 時が往く
世代越え 伝え守る 手から手に
ものづくり ものがたりの 歪手箱
はるか未来へ 君に預け物

二、薄墨の 雲間に光る 海原は
はるかなる 鏡の道と 波づき
季節風（うらにし）に ぬかるむ大地 踏みしめて
歩いていく 梦が道しるべ

四、いにしえの 歴史をたどる 丹後路は
新しき 王國へと つづく道
手をつなごう みんなの思いが 龍針盤
ただひたすらに 京、丹後の 明日へ

目 次

教育行政財政

1 教育委員会委員、教育委員会組織体制図	1
2 教育委員会事務局事務分掌表	2
3 教育委員会の開催状況	6
4 教育費予算の概要	10
5 主要な決算の概要	12

子育て支援

1 幼稚園・保育所施設、運営内容	21
2 各幼稚園の教育内容・各保育所の保育の理念、保育の目標	22
3 放課後児童クラブ登録児童数	40

学校教育

1 児童生徒数及び学級数の推移	41
2 学校施設一覧	44
3 施設整備計画、学校施設改修事業	46
4 学校施設耐震化計画、学校等耐震化事業	53
5 学校通学区、スクールバス運行	54
6 奨学金	56
7 学校再配置	57
8 小中一貫教育	60
9 学校保健	61
10 学校給食	66
11 就学援助	69
12 教育指導	70
13 学校安全	77
14 不登校対策	80
15 研究等指定校	81
16 学校情報化推進	82

社会教育

1 社会教育事業概要	85
------------	----

2	京丹後市公民館連絡協議会事業報告	92
3	京丹後市公民館組織図	94
4	各地域公民館事業概要	95
5	社会教育施設事業概要	114
6	社会体育事業概要	117
7	社会体育施設一覧	127
8	図書館	129

文化財

1	文化財保護事業	137
2	文化財保護関係施設	144
3	指定文化財	147

各種委員名簿

1	各種委員名簿	149
---	--------	-----

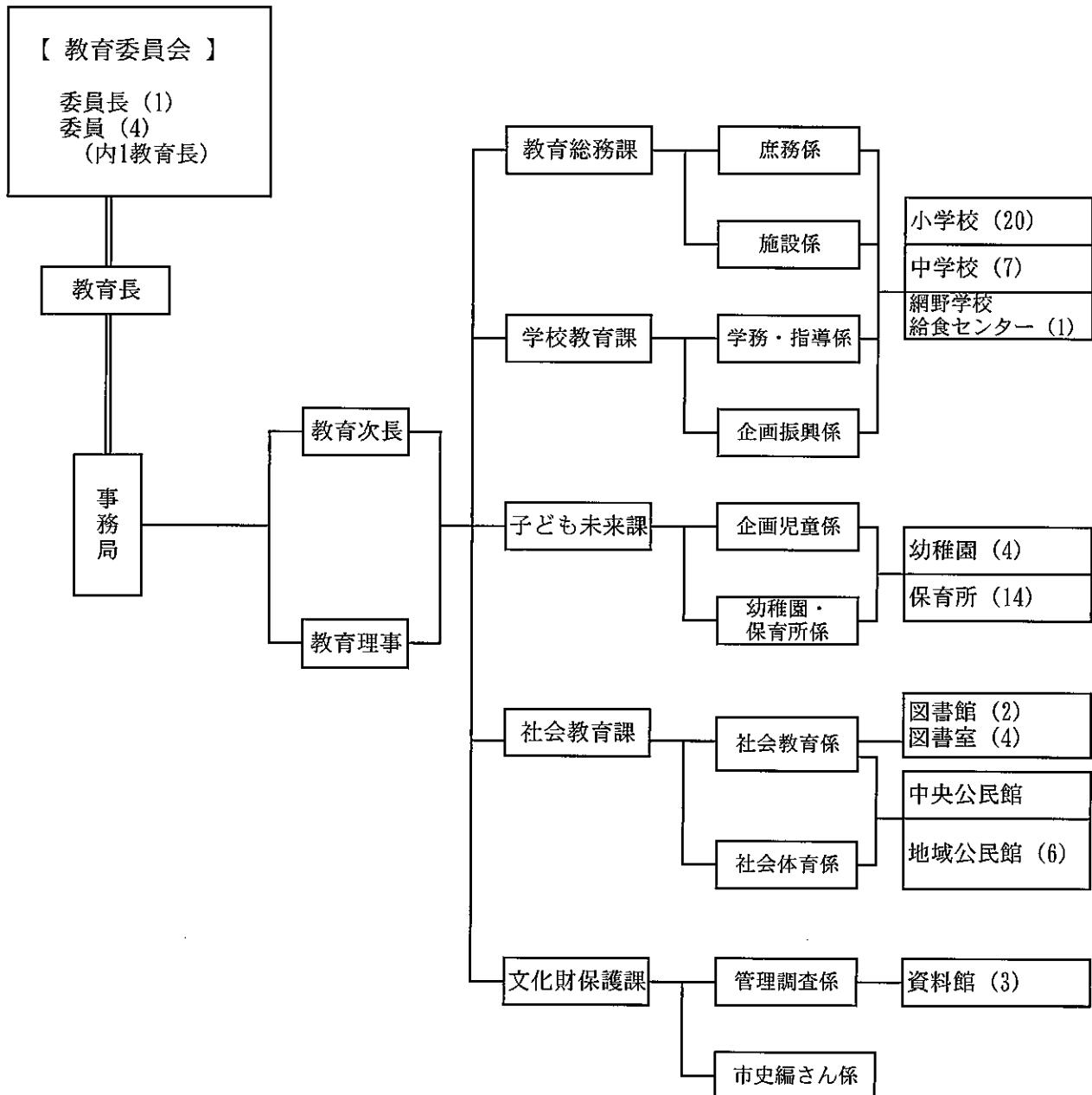
教 育 行 財 政

1 教育委員会委員

委 員 長 小松 広三
委員長職務代理者 文珠 清道
委 員 森 益美
野木 三司
教 育 長 米田 敦弘

教育委員会組織体制図

平成26年4月1日現在



2 教育委員会事務局事務分掌表

教育総務課

ア 庶務係

- (ア) 教育振興基本計画に関すること。
- (イ) 教育委員会の会議に関すること。
- (ウ) 学校の設置、廃止等に関すること。
- (エ) 規則等の制定及び改廃に関すること。
- (オ) 職員の任免、進退、賞罰、服務及び身分に関すること。
- (カ) 職員の給与及び福利厚生に関すること。
- (キ) 職員の公務災害に関すること。
- (ク) 非常勤職員の任用に関すること。
- (ケ) 京丹後市立学校勤務府費負担教職員安全衛生委員会に関すること。
- (コ) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
- (サ) 公印の管理に関すること。
- (シ) 文書の収受及び発送に関すること。
- (ス) 教育費の予算編成及び決算に関すること。
- (セ) 奨学金に関すること。
- (ソ) 公用車、スクールバスの運行管理に関すること。
- (タ) 広報に関すること。
- (チ) 叙勲及び表彰に関すること。
- (ツ) 寄附採納に関すること。
- (テ) 教育委員会の庶務に関すること。
- (ト) (ア)から(テ)までに掲げるもののほか、他の課に属さないこと。

イ 施設係

- (ア) 学校施設の基本計画及び実施計画に関すること。
- (イ) 学校施設の維持管理に関すること。
- (ウ) 学校施設の防災に関すること。
- (エ) 学校施設の国庫負担金(補助金)に関すること。
- (オ) 学校施設の施設台帳及び財産台帳に関すること。
- (カ) (ア)から(オ)までに掲げるもののほか、教育施設に関すること。

学校教育課

ア 企画振興係

- (ア) 学校規模の適正化等の調査及び検討に関すること。

- (イ) 学校再配置に関すること。
- (ウ) 学校教育改革構想に関すること。
- (エ) 教科書の採択に関すること。
- (オ) 通学区域に関すること。
- (カ) 学校評議員に関すること。
- (キ) 学級編成に関すること。
- (ク) 児童生徒数の推計に関すること。
- (ケ) 指導主事の服務に関すること。
- (コ) 教育相談の総括に関すること。
- (サ) 教育支援センターに関すること。
- (シ) 学校教育の情報発信に関すること。
- (ス) (ア) から (シ) までに掲げるもののほか、企画振興に関すること。

イ 学務・指導係

- (ア) 就学に関すること。
- (イ) 学齢簿に関すること。
- (ウ) 教科書の無償給与に関すること。
- (エ) 学校保健、学校安全に関すること。
- (オ) 小中一貫教育の実践に関すること。
- (カ) 教育のまちづくりの推進に関すること。
- (キ) 学校給食、食育に関すること。
- (ク) 学校経営、教育活動及び教育課程の指導助言に関すること。
- (ケ) 研究指定校に関すること。
- (コ) 教職員及び講師の任免並びに内申に関すること。
- (サ) 教職員の免許更新及び研修に関すること。
- (シ) 教職員の服務、公務災害及び給与事務に関すること。
- (ス) 学校の管理運営予算及び教育振興予算の執行に関すること。
- (セ) スクールソポーターの任用に関すること。
- (ソ) (ア) から (セ) に掲げるもののほか、学務・指導及び学事に関すること。

子ども未来課

ア 企画児童係

- (ア) 次世代育成支援対策行動計画の策定及び進行管理に関すること。
- (イ) 子ども未来まちづくり審議会に関すること。
- (ウ) 少子化対策、子育て支援の企画及び調整に関すること。
- (エ) 要保護児童対策地域協議会に関すること。

- (才) 家庭子ども相談室に関すること。
- (カ) 放課後児童健全育成事業に関すること。
- (キ) ファミリー・サポート・センターに関すること。

イ 幼稚園・保育所係

- (ア) 幼稚園及び保育所の設置、廃止等に関すること。
- (イ) 就園及び保育の実施に関すること。
- (ウ) 幼稚園の教育課程及び保育所の保育計画に関すること。
- (エ) 保育費用等の徴収に関すること。
- (オ) 入園・入所児童の健康安全に関すること。
- (カ) 私立保育所及び無認可保育所に関すること。
- (キ) 幼稚園の預かり保育事業に関すること。
- (ク) 保育所の一時預かり事業に関すること。
- (ケ) 子育て短期支援事業に関すること。
- (コ) 子育て支援センターの運営に関すること。
- (サ) 子育てサポートセンターの運営に関すること。

社会教育課

ア 社会教育係

- (ア) 社会教育委員会議に関すること。
- (イ) 社会教育計画の立案に関すること。
- (ウ) 公民館に関すること。
- (エ) 図書館に関すること。
- (オ) 社会教育施設の整備及び維持管理に関すること。
- (カ) 社会教育事業に関すること。
- (キ) 社会教育関係団体に関すること。
- (ク) (ア)から(キ)までに掲げるもののほか、社会教育に関すること。

イ 社会体育係

- (ア) スポーツ推進審議会に関すること。
- (イ) 文化、スポーツ及びレクリエーションの振興に関すること。
- (ウ) 体育施設の整備及び維持管理に関すること。
- (エ) 社会体育関係団体に関すること。
- (オ) (ア)から(エ)までに掲げるもののほか、社会体育に関すること。

文化財保護課

ア 管理調査係

- (ア) 文化財保護審議会に関すること。

- (イ) 文化財保護団体に関すること。
- (ウ) 資料館、文化館等文化財関係施設に関すること。
- (エ) 文化財の普及啓発に関すること。
- (オ) 文化財補助金に関すること。
- (カ) 埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- (キ) 収蔵資料の管理に関すること。
- (ク) 文化財情報提供及び指導助言に関すること。
- (ケ) (ア)から(ク)までに掲げるもののほか、文化財の管理調査に関すること。

イ 市史編さん係

- (ア) 市史編さんに関すること。
- (イ) 文化財の調査及び研究、収集並びに保存に関すること。

3 教育委員会の開催状況(平成26年4月～平成27年3月)

開催日	議案番号	議 案 件 名
26. 4. 2	報告6号	京丹後市立学校医、学校歯科医、学校薬剤師の委嘱について
	報告7号	京丹後市立学校評議員の委嘱について
	報告8号	京丹後市スクールガード・リーダーの委嘱について
	報告9号	欠番
	報告10号	京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について
26. 5. 7	41	京丹後市社会教育委員の委嘱について
	42	京丹後市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
	43	京丹後市いじめ防止対策等専門委員会及び京丹後市いじめ問題調査検証委員会に関する条例の制定について
	44	専決処分の承認について（行政財産の用途廃止について）
	45	第11回大宮町体育大会の開催に係る後援について
	報告11号	京丹後市立幼稚園・保育所内科医、歯科医、薬剤師の委嘱について
	報告12号	京丹後市教育振興計画策定委員会委員の退任及び委嘱について
	報告13号	京丹後市小中一貫教育研究推進協議会委員の退任及び委嘱について
	46	平成27年度使用京丹後市教科用図書の採択に関する基本方針について
26. 5. 28	47	平成27年度使用京丹後市教科用図書に関する調査及び研究について（諮問）
	48	京丹後市学校教科用図書選定委員会の委員の委嘱又は任命について
	49	京丹後市いじめ防止等基本方針について
	50	平成26年度近畿高等学校総合体育大会カヌー競技 第13回近畿高等学校カヌー選手権大会 平成27年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技リハーサル大会の開催に係る後援について
	51	京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について
26. 6. 6	52	京丹後市子どもの読書活動推進計画第二次推進計画の策定について
	53	ヨーロッパ文化についての講習会の開催に係る後援について
	54	第25回丹後ブロック中学校総合体育大会の開催に係る共催について
	55	2014年「ふくしま・こどもキャンプ」の開催に係る後援について
	報告14号	京丹後市就学指導委員会委員の委嘱について
26. 6. 30	56	京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について
26. 7. 8	57	丹後展企画委員会設置要綱の制定について
	58	丹後展企画委員会委員の委嘱について
	59	【子育て音楽館】第1回ヴァイオリンのミニコンサート&楽器体験ワークショップの開催に係る後援について
	60	華道嵯峨御流久美浜司所創立50周年記念華展の開催に係る後援について

開催日	議案番号	議 案 件 名
26. 8. 1	61	京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について
	62	京丹後市立幼稚園条例の一部改正について
	63	第24回丹後ブロック中学校駅伝競走大会の開催に係る共催について
	64	紙芝居「豊宇賀能売命になった天女」を見る会の開催に係る後援について
	報告15号	公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について
26. 8. 18	65	平成27年度使用京丹後市立小学校教科用図書の採択について
	66	平成27年度使用京丹後市立中学校教科用図書の採択について
	67	映画会～僕のうしろに道はできる～の開催に係る後援について
	68	京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について
	69	平成26年度全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて
26. 9. 5	70	京丹後市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について
26. 10. 8	71	京丹後市立幼稚園条例施行規則の一部改正について
	72	京丹後市子育て支援センター事業実施要綱の一部改正について
	73	京丹後市一時預かり事業実施要綱の一部改正について
	74	公共政策フォーラム2014 in 京丹後の開催に係る後援について
	75	映画「海洋天堂」自主上映会の開催に係る後援について
	76	京丹後市就学指導委員会委員の解嘱及び委嘱について
	報告16号	平成26年度全国学力・学習状況調査の結果概要について
26. 10. 16	77	京丹後市指導主事の解任及び任命について
	78	京丹後市就学指導委員会委員の解嘱及び委嘱について
26. 11. 4	79	平成25年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について
	80	丹後展企画委員会委員の委嘱について
	81	京丹後市立学校条例の一部改正について
	82	京丹後市立学校通学区域規則の一部改正について
	83	京丹後市立保育所と京丹後市立幼稚園を併設する施設の名称等に関する規則の制定について
	84	おもしろ健康講演会の開催に係る後援について
	報告17号	Xバンドレーダー配備に伴う米軍人・軍属の犯罪・事件事故防止と、子どもの安全・安心確保についての申し入れについて
26. 11. 21	85	京丹後市子どものための保育給付を受ける資格等の基準を定める条例施行規則の制定について

開催日	議案番号	議 案 件 名
26. 12. 3	86	京丹後市における教科用図書採択地区の変更について
	87	京丹後市立幼稚園条例施行規則の一部改正について
	88	京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について
27. 1. 5	1	京丹後市地域公民館長の辞職の同意について
	2	京丹後市地域公民館長の公募について
	3	Xバンドレーダー配備に伴う米軍人・軍属の犯罪・事件事故防止と、子どもの安全・安心確保についての申し入れに係る回答について
	4	平成26年度「次世代文化継承・発展事業」（地域文化）次世代育成 丹後ミュージカル「天女の贈り物」の開催に係る後援について
	5	京都府立大学ACTR（地域貢献型特別研究）調査報告会の開催に係る後援について
	報告	平成26年度丹後地方市町（組合）教育委員会事務局職員研修の報告について
27. 1. 16	6	京丹後市立幼稚園条例の一部改正について
	7	行政財産の用途廃止について
	8	スポーツ指導者講習会の開催に係る後援について
27. 2. 4	9	京丹後市教育振興計画（案）について
	10	平成27年度「指導の重点」について
	11	平成27年度全国学力・学習状況調査の実施について
	12	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について
	13	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整備に関する規則の制定について
	14	京丹後市教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定について
	15	京丹後市教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例施行規則の制定について
	16	京丹後市学校教育施設整備基金条例の制定について
	17	京丹後市社会体育施設条例の一部改正について
	18	京丹後市社会体育施設条例施行規則の一部改正について
	19	行政財産の所管換えについて
	20	白隱禪師二百五十年遠諱記念「白隱禪師墨蹟展」の開催に係る後援について

開催日	議案番号	議 案 件 名
27. 2. 23	21	平成27年度京丹後市立学校教職員の管理職人事異動内申について
	22	平成27年度教育委員会関係予算について
	23	京丹後市教育委員会公印規程の一部改正について
	24	京丹後市教育委員会事務局文書取扱規程の一部改正について
	25	京丹後市教育長の権限に属する事務の一部を校長に委任する訓令の一部改正について
	26	京丹後市子育て短期支援事業実施要綱の一部改正について
	27	京丹後市立幼稚園預かり保育事業実施要綱の一部改正について
	28	京丹後市立保育所延長保育事業実施要綱の一部改正について
	29	行政財産の用途廃止について
27. 3. 4	30	欠番
	31	京丹後市地域公民館長の任命について
	32	丹後教科用図書採択地区協議会規約（案）について
	33	京丹後市立幼稚園保育料徴収条例施行規則の制定について
	34	京丹後市立保育所保育料徴収条例施行規則の制定について
	35	京丹後市私立保育所保育料徴収規則の制定について
	36	行政財産の所管換えについて
27. 3. 10	37	第2回京丹後ビーチノルディック大会 in 小天橋の開催に係る後援について
	38	平成27年度京丹後市立学校教職員の一般職人事異動内申について
27. 3. 18	39	京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について
	40	京丹後市指導主事の任命について
	41	京丹後市スポーツ推進委員の解嘱及び委嘱について
	42	京丹後市事務決裁規程の一部改正について
	43	京丹後市教育支援センター設置規則の一部改正について
	44	京丹後市学校教科用図書選定委員会規程の廃止について
	45	京丹後市教育委員会事務局組織規則の一部改正について

教育委員会制度について

教育委員会は、都道府県及び市町村等におかれる合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進をはじめ、教育、文化、スポーツ振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。

(教育委員会制度の根拠法律：「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」)

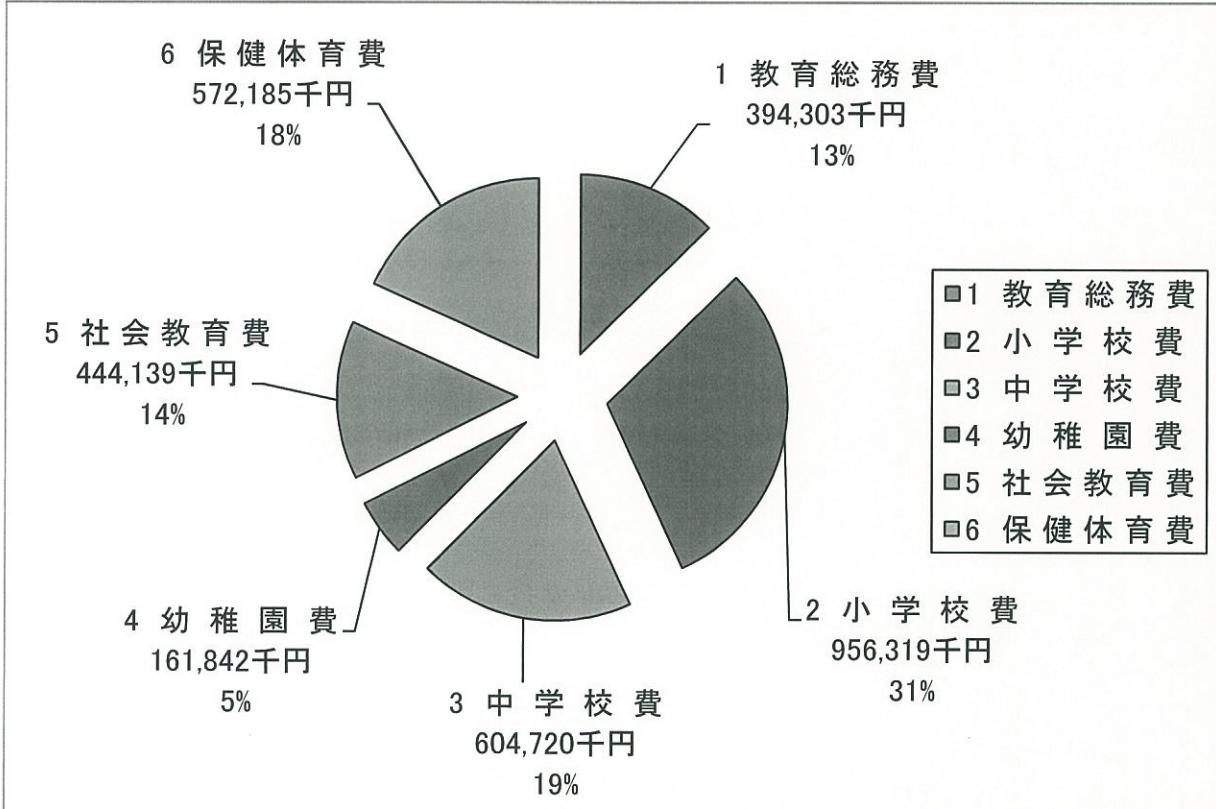
教育委員会制度の意義としては、①地方自治の尊重、②教育行政の中立性と安定性の確保、③指導行政の重視、④教育行政と一般行政の調和、⑤国・都道府県・市町村の連携、⑥生涯学習など教育行政の一体的な推進、の6つがあります。

4 教育費予算の概要

(単位:千円)

区分	平成26年度	平成25年度	比較
一般会計総額	34,190,000	31,400,000	2,790,000
教育費	3,133,508	2,952,122	181,386
(教育費の占める割合)	9.2%	9.4%	—
1 教育総務費	394,303	399,741	△ 5,438
2 小学校費	956,319	1,107,729	△ 151,410
3 中学校費	604,720	316,874	287,846
4 幼稚園費	161,842	155,818	6,024
5 社会教育費	444,139	454,728	△ 10,589
6 保健体育費	572,185	517,232	54,953

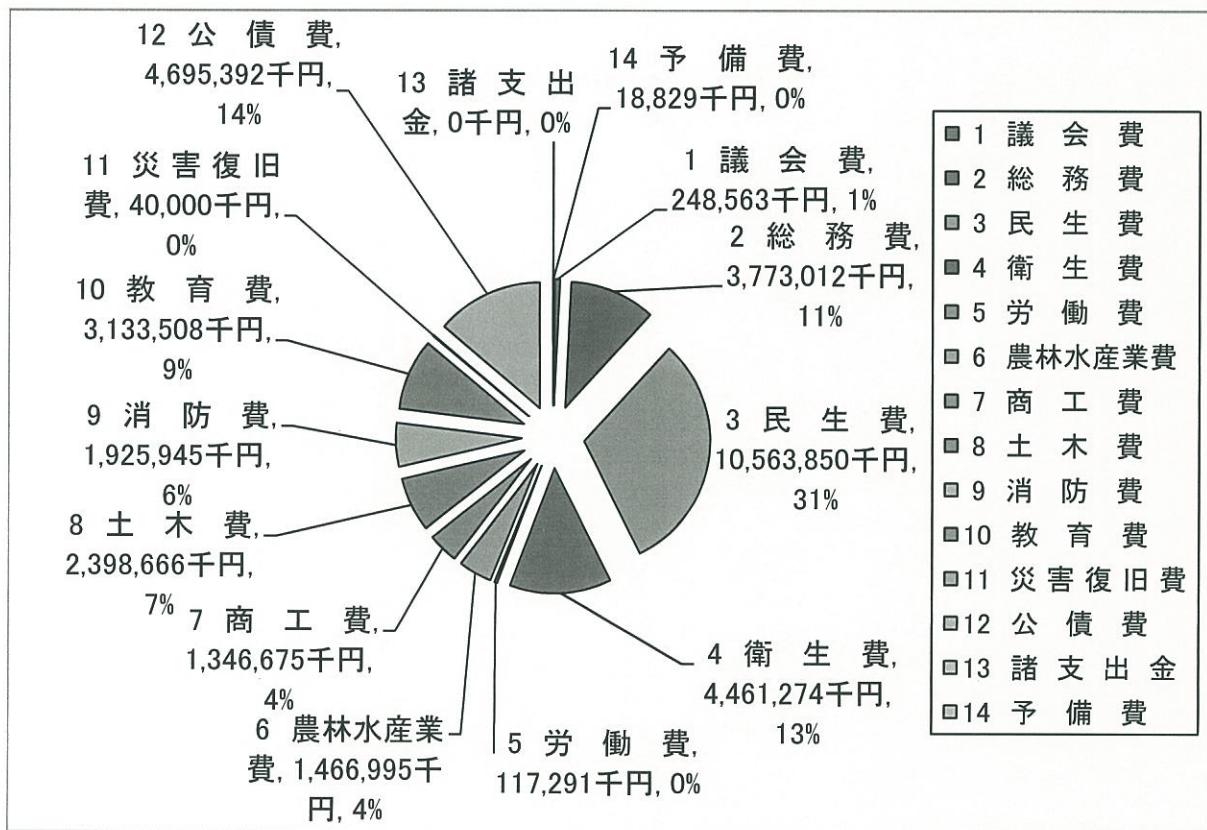
民生費			
1 児童福祉費	4,060,923	3,929,074	131,849
(1) 児童福祉総務費	206,403	198,470	7,933
(3) 保育所費	2,689,310	2,606,019	83,291



一般会計歳出予算の目的別内訳

(単位：千円)

区分	平成26年度	平成25年度	比較
1 議会費	248,563	255,845	△ 7,282
2 総務費	3,773,012	3,893,211	△ 120,199
3 民生費	10,563,850	9,820,229	743,621
4 衛生費	4,461,274	3,816,794	644,480
5 労働費	117,291	106,875	10,416
6 農林水産業費	1,466,995	1,147,855	319,140
7 商工費	1,346,675	983,782	362,893
8 土木費	2,398,666	2,188,150	210,516
9 消防費	1,925,945	1,295,733	630,212
10 教育費	3,133,508	2,952,122	181,386
11 災害復旧費	40,000	0	40,000
12 公債費	4,695,392	4,920,592	△ 225,200
13 諸支出金	0	0	0
14 予備費	18,829	18,812	17
合計	34,190,000	31,400,000	2,790,000



5 主要な決算の概要

小学校施設耐震化事業

中学校施設耐震化事業

学校再配置推進事業

小中一貫教育推進事業

学習支援体制整備事業

いじめ防止啓発推進事業

子育て支援センター事業

弥栄統合保育所整備事業

学校支援地域本部事業

高齢者教育事業

家庭教育事業

地域スポーツ振興事業

文化財保護啓発事業

遺跡発掘調査等事業

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業	03中学校施設整備事業
総事業名	02 中学校施設耐震化事業				決算書
総合計画	基本方針	生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実	
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考) 当初予算額	
361,755千円	361,872千円	117千円	99.9 %	378,285千円	
目的	耐震性能が不足している小学校施設について、計画的な耐震補強工事を行い、大規模地震発生時における児童の安全を確保する。	京丹後市立学校施設耐震化計画に基づき、小学校施設の耐震補強及び老朽化部分の改修工事を行つとともに、工事に付随する各種業務委託等を実施した。また、平成27年度において実施予定の非構造部材の落下防止工事に係る点検業務の委託を行つた。	○委託料 ・旧佐濃小学校浄化槽汚泥引抜運搬等業務 ・耐震補強等工事監理業務 (峰山小学校、吉原川小学校、丹波川小学校、間人小学校) ・吉原川小学校校舎棟耐震補強等工事 (その2) 実施設計業務 ・非構造部材点検等業務	28,658 千円 557 千円 12,290 千円	3,812千円
主要な事業及び成果の概要	・事業及び成果の概要	○使用料及び賃借料 ・佐濃小学校校舎設置校舎借上料 ・吉原川小学校校舎設空調設備質賞借料	20,175 千円 19,842 千円 333 千円	311,950 千円	
○工事請負費 ・耐震補強等工事 (峰山小学校、吉原川小学校、丹波川小学校、間人小学校)	972 千円	○現場訪問用車両借上げ料等	63,233千円	国補	49,264千円
主な財源	学校施設環境改善交付金			主な財源	評価
評価	耐震補強工事を実施することにより、児童にとって安全・安心な学習環境を整備することができた。	・峰山中学校の耐震補強工事を終え、生徒にとって安全・安心な学習環境を整備することができた。		事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	09学校再配置事業	13小中一貫教育推進事業	
細事業名	01 小中一貫教育推進事業					
総合計画基本方針	IV生涯学習都市					
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ 計画項目	④ 学校教育の充実		
12,521千円	13,098千円	577千円	17,032千円	1,443千円	1,520千円	
目的	<p>京丹後市学校再配置基本計画に基づく「学校づくり準備協議会」を設置し、学校再配置による新しい学校づくりに向けた取組を推進する。</p> <p>京丹後市学校再配置基本計画に基づく「学校づくり準備協議会」を設置し、学校再配置の充実</p> <p>京丹後市学校再配置基本計画に基づく「学校づくり準備協議会」を設置し、新らしい学校の開校に向けた取組を進めるとともに、再配置後の枠組に応じた児童生徒の交流学習などを実施。また、開・閉校式の実施、閉校後の施設の利活用を検討するとともに、閉校に伴う地域（旧校区）での取組を支援した。</p>					
主要な事業	<p>・事業及び成果の概要</p> <p>学校再配置事業を円滑に推進するために、学校づくり準備協議会を設置し、新らしい学校の開校に向けた取組を進めるとともに、再配置後の枠組に応じた児童生徒の交流学習などを実施。また、開・閉校式の実施、閉校後の施設の利活用を検討するとともに、閉校に伴う地域（旧校区）での取組を支援した。</p>					
主要な事業	決算書	決算書				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	09学校再配置推進事業		
細事業名	01 学校再配置推進事業					
総合計画基本方針	IV生涯学習都市					
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ 計画項目	④ 学校教育の充実		
12,521千円	13,098千円	577千円	17,032千円	1,443千円	1,520千円	
目的	<p>平成26年度開校 網野南小、弥栄小、高龍小、丹後中 平成26年度閉校 網野中、橋中</p> <p>○式典開連経費</p> <p>費用弁償（開校式：校歌校章作成者） 消耗品費（式典用装飾花、看板等） 手数料（白布等クリーニング手数料）</p> <p>○開校準備経費</p> <p>報償費（校章・校歌作成記念品等） 消耗品費（掲出用校旗） 手数料（ピアノ運搬、耐火金庫運搬） 委託料（校章等更新業務委託料等） 備品購入費（式典用校旗、ステージ文字幕、部活動用ユニフォーム）</p> <p>○閉校記念誌補助金</p> <p>（網野南小、郷小、溝谷小、鳥取小、黒部小、野間小、海部小 橋中、宇川中、久美浜中）</p> <p>○学校再配置事務臨時専員（1人）の配置</p> <p>共済費（社会保険料）</p> <p>資金</p>					
主要な事業	決算書	<p>未来づくり交付金（学校再配置推進事業）</p>				
主要な財源	主な財源	<p>主な財源</p> <p>○再配置後の校区の関係者で構成する「学校づくり準備協議会」を設置し、新たな学校づくりに向けて取り組み、計画通りの再配置を実現した。 ○実施方針に示す再配置年月を目標に、計画的に推進する必要がある。</p>				
評価	事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	14教育のまちづくり推進事業	15いじめ防止啓発推進事業	
細事業名	02 学習支援体制整備事業			決算書		
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実		
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ 基本方針	④ 最終予算額	⑤ 計画項目	
目的	2,167千円	2,320千円	153千円	93.4 %	2,460千円	
主要な事業・事業及び成果の概要	「教育と学びのまち京丹後」の実現に向け、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりの構築、放課後や土曜日を活用した教育活動、情報メディアを活用した学習支援の実証研究を行った。	地域ぐるみでの放課後学習環境づくり「小学生放課後わくわく自習室」を開始するどもに、土曜日を活用した教育活動、情報メディアを活用した学習支援の実証研究を行った。	○教育活動の実証研究 ・放課後の学習支援（運営協力謝金、消耗品費）	41千円	11月を「いじめ防止推進月間」と位置付け、いじめ問題やいじめの防止等の取組について広く市民に啓発し、市民にいじめ問題について正しい理解を深めてもらうとともに、意識の高揚を図るために、街頭キャンペーンによる啓発グッズの配布や懸垂幕の設置を行った。また、学校、家庭、地域社会の連携強化を図るために、「いじめ防止講演会」を実施した。さらに、問題事象に対する迅速な対応や早期解決に向けた支援を行うため、いじめ相談専用電話を設置した。	○報賞費 ・いじめ防止推進月間講師謝金 期日：平成26年11月26日（水）会場：アグリセンター大宮 講師：京都文教大学 柴田長生教授 参加者数：116人
○主な財源	○事業費 ・土曜日を活用した教育活動（消耗品費、印刷製本費） 毎月、第二土曜日を「わくわく学びサタデー」として設定し、各学校の創意工夫による教育活動の調査研究を全小中学校で実施した。 わくわく学びサタデーリフレットを作成し、啓発を行った。	837千円	○事業費 ・土曜日を活用した教育活動（消耗品費、印刷製本費） 毎月、第二土曜日を「わくわく学びサタデー」として設定し、各学校の創意工夫による教育活動の調査研究を全小中学校で実施した。 わくわく学びサタデーリフレットを作成し、啓発を行った。	1,289千円	○事業費 ・情報メディアの活用研究 ・学習支援番組の制作（委託料、消耗品費） 高校受験対策番組として数学基礎講座番組を作成し、市ケーブルテレビ放送で放映するとともに、テキストを作成し全中学3年生に配布した。 DVD教材として各中学校・市立図書館で貸し出しを行った。	1,289千円
○評価	○放課後学習支援の実証実験として、小学生を対象とした「放課後わくわく自習室」を3地区（地域）で開始することができた。 ○毎月第二土曜日に、各学校の創意工夫による教育活動を実施することができるようになった。 ○受験科目の中でも平均点が低い数学の基礎講座番組を作成し、市ケーブルテレビ放送・DVDにより、情報メディアを活用した学習支援を行うことができた。	124千円	○主な財源 ・府委	124千円	○主な財源 ・府補 教育支援体制整備事業補助金	55千円
○事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課	○事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	14教育のまちづくり推進事業	15いじめ防止啓発推進事業	
細事業名	02 学習支援体制整備事業			決算書		
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実		
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ 基本方針	④ 最終予算額	⑤ 計画項目	
目的	2,167千円	2,320千円	153千円	93.4 %	2,460千円	
主要な事業・事業及び成果の概要	「教育と学びのまち京丹後」の実現に向け、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりの構築、放課後や土曜日を活用した教育活動、情報メディアを活用した学習支援の実証研究を行った。	地域ぐるみでの放課後学習環境づくり「小学生放課後わくわく自習室」を開始するどもに、土曜日を活用した教育活動、情報メディアを活用した学習支援の実証研究を行った。	○教育活動の実証研究 ・放課後の学習支援（運営協力謝金、消耗品費）	41千円	11月を「いじめ防止推進月間」と位置付け、いじめ問題やいじめの防止等の取組について広く市民に啓発し、市民にいじめ問題について正しい理解を深めてもらうとともに、意識の高揚を図るために、街頭キャンペーンによる啓発グッズの配布や懸垂幕の設置を行った。また、学校、家庭、地域社会の連携強化を図るために、「いじめ防止講演会」を実施した。さらに、問題事象に対する迅速な対応や早期解決に向けた支援を行うため、いじめ相談専用電話を設置した。	○報賞費 ・いじめ防止推進月間講師謝金 期日：平成26年11月26日（水）会場：アグリセンター大宮 講師：京都文教大学 柴田長生教授 参加者数：116人
○主な財源	○事業費 ・土曜日を活用した教育活動（消耗品費、印刷製本費） 毎月、第二土曜日を「わくわく学びサタデー」として設定し、各学校の創意工夫による教育活動の調査研究を全小中学校で実施した。 わくわく学びサタデーリフレットを作成し、啓発を行った。	837千円	○事業費 ・情報メディアの活用研究 ・学習支援番組の制作（委託料、消耗品費） 高校受験対策番組として数学基礎講座番組を作成し、市ケーブルテレビ放送で放映するとともに、テキストを作成し全中学3年生に配布した。 DVD教材として各中学校・市立図書館で貸し出しを行った。	1,289千円	○事業費 ・いじめ相談専用フリーダイヤル設置費用（11月）、通話料 ・いじめ相談専用携帯電話利用料 相談受付：24時間対応 対応者：教育委員会事務局指導主任 ※いじめ相談件数：〇件	23千円
○評価	○放課後学習支援の実証実験として、小学生を対象とした「放課後わくわく自習室」を3地区（地域）で開始することができた。 ○毎月第二土曜日に、各学校の創意工夫による教育活動を実施することができるようになった。 ○受験科目の中でも平均点が低い数学の基礎講座番組を作成し、市ケーブルテレビ放送・DVDにより、情報メディアを活用した学習支援を行うことができた。	124千円	○主な財源 ・府補 教育支援体制整備事業補助金	55千円	○主な財源 ・府委	55千円
○事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課	○事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	04子育て支援ｾﾝﾀｰ事業	決算書
細事業名	01 子育て支援ｾﾝﾀｰ事業				
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	① 子育ての支援	
決算額	① 最終予算額	② 不用額	額(②-①)	執行率(②-①)	初予算額(参考)
10,930千円	11,356千円	426千円	96.2%	11,307千円	
目的	保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場の提供等の育児支援活動を通して、地域に密着した子育ての環境を整える。	幼稚園入園前・保育所入所前の子どもを持つ家庭のため、保護者の育児相談・交流の場及び子ども同士のふれあいの場として、7か所の支援センターを設置する。 また、7月24日に開催した子育て講演会「うたって踊つて楽しく子育て」は、参加者から好評であった。参加者は保護者93人、子ども103人、計196人であった。	○家庭内で子育てをしている保護者の育児を支援する事業	実績場所	実績額
	ゆうかり子ども園	2,740	-	うち職員人件費 児童 保護者	延利用人數 1,598人 1,395人
	大宮北保育所	9,710	8,510	2,071人 1,731人	
	大宮南保育所	9,589	8,367	2,405人 1,904人	
	綱野みなみ保育所	9,837	8,621	2,702人 1,950人	
	丹後こども園	4,948	3,580	1,746人 1,390人	
	溝谷集会施設	1,661	-	1,189人 1,087人	
	こうりゅう保育所	10,139	8,886	2,453人 1,907人	
	事務局	270	-	-	
	合計	48,894	37,964	14,164人 11,364人	
※決算額(10,930千円)は実績額から職員人件費を除いた額					
○臨時職員賃金及び共済費				8,899千円	
○子育て講座・親子体操教室講師謝礼				210千円	
○駐車場使用料(峰山地或子育て支援センター)				334千円	
○溝谷集会施設使用料(弥栄地域子育て支援センター)				46千円	
○通信運搬費				263千円	
○その他経費(職員研修旅費、消耗品費、燃料費等)				1,178千円	
主な財源	国補 府補 市債 市債	温全効果ガバ吸原划策森林整備事業費補助金 未来づくり設立金(弥栄統合保育所整備事業) 児童福利施設整備事業費(合併特別費) 児童福利施設整備事業費(施設整備事業費(一般財源化分))		150,000千円 2,799千円 509,100千円 154,200千円	
評価	○新築工事により新施設が完成し、幼保一体化施設(弥栄こども園)を開園することができた。(弥栄幼稚園開園、弥栄保育所開所、弥栄地域子育て支援センター移設)。				
	○既存施設の改修工事により、新施設での保育の実施準備ができた。				
事業所管課	事業所管課	教育委員会/子ども未来課	教育委員会事務局/子ども未来課		

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	04子育て支援ｾﾝﾀｰ事業	決算書
細事業名	01 子育て支援ｾﾝﾀｰ事業				
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	① 子育ての支援	
決算額	① 最終予算額	② 不用額	額(②-①)	執行率(②-①)	初予算額(参考)
10,930千円	11,356千円	426千円	96.2%	11,307千円	
目的	保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場の提供等の育児支援活動を通して、地域に密着した子育ての環境を整える。	幼稚園入園前・保育所入所前の子どもを持つ家庭のため、保護者の育児相談・交流の場及び子ども同士のふれあいの場として、7か所の支援センターを設置する。 また、7月24日に開催した子育て講演会「うたって踊つて楽しく子育て」は、参加者から好評であった。参加者は保護者93人、子ども103人、計196人であった。	○家庭内で子育てをしている保護者の育児を支援する事業	実施場所	実績額
	ゆうかり子ども園	2,740	-	うち職員人件費 児童 保護者	延利用人數 1,598人 1,395人
	大宮北保育所	9,710	8,510	2,071人 1,731人	
	大宮南保育所	9,589	8,367	2,405人 1,904人	
	綱野みなみ保育所	9,837	8,621	2,702人 1,950人	
	丹後こども園	4,948	3,580	1,746人 1,390人	
	溝谷集会施設	1,661	-	1,189人 1,087人	
	こうりゅう保育所	10,139	8,886	2,453人 1,907人	
	事務局	270	-	-	
	合計	48,894	37,964	14,164人 11,364人	
※決算額(10,930千円)は実績額から職員人件費を除いた額				8,899千円	
○臨時職員賃金及び共済費				210千円	
○子育て講座・親子体操教室講師謝礼				334千円	
○駐車場使用料(峰山地或子育て支援センター)				46千円	
○溝谷集会施設使用料(弥栄地域子育て支援センター)				263千円	
○通信運搬費				1,178千円	
主な財源	国補 府補 市債 市債	温全効果ガバ吸原划策森林整備事業費補助金 未来づくり設立金(弥栄統合保育所整備事業) 児童福利施設整備事業費(合併特別費) 児童福利施設整備事業費(施設整備事業費(一般財源化分))		150,000千円 2,799千円 509,100千円 154,200千円	
評価	○保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場を提供することにより子育てに対する不安の解消の場を提供することが図られた。				
	○昨年度よりも多くの利用がめった。一方で、年齢別でクラスを設定しているが、対象年齢の児童とその兄弟が一緒に参加される家庭が多く、その結果、利用人数が多くなりすぎる日があることから、利用日の調整を行うなどの工夫が必要である。				
事業所管課	事業所管課	教育委員会/子ども未来課	教育委員会事務局/子ども未来課		

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	14教育のまちづくり推進事業	
細事業名	01 高齢者教育事業				決算書
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実	
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-①	執行率	(参考) 当初予算額
5,271千円	5,273千円	2千円	99.9%	5,146千円	
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、学校を核とした地域の教育力の向上と活性化を図る。				
主要な事業・事業及び成果の概要	<p>地域全体で学校教育を支援するため、さまざまな特技や技能をもつた地域の人材を学校支機能として登録していただき、全ての幼稚園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などの活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日 ○実施地域 市内全ての小学校（20校）・中学校（7校）・幼稚園（4園） ○地域コーディネーターの配置 6人（各地域公民館） ○ボランティア登録者数 470人（平成26年度新規登録者数46人） ○ボランティア募集・活動報告 ○広報誌の発行（2回） ○ボランティア活動 <p>＜活動内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援（教科指導補助、総合的な学習の時間の講師、部活動指導支援） ・環境支援（学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等） <p>＜活動実績＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・峰山中学校区 660日／2,272人 ・大宮中学校区 157日／447人 ・網野・橋中学校区 546日／2,326人 ・丹後中学校区 506日／3,087人 ・弥栄中学校区 222日／416人 ・久美浜中学校区 316日／1,226人 				
主な財源	<p>○ 謝金 4,369千円</p> <p>○ 旅費 426千円</p> <p>○ 消耗品・印刷製本費 473千円</p> <p>○ 使用料（有料道路通行料） 3千円</p>				
評価	<p>○学校支援ボランティアとして様々な学校支援活動を行うことで、地域で学校教育を支援する運営本制の構築が図ることことができた。</p> <p>○地域住民の経験や特技を生かす場として、学校的な教育活動等に参加することで、地域の教育力の向上と住民の意欲・能力の活用を図ることができるとしていることから、ボランティア登録者を増やしていく必要がある。</p>				
主な財源	<p>○各種講座（高齢者大学・トレッキング講座及び高齢者大学院）の実施により、高齢者の仲間づくり、生きがいづくりに寄与することができた。</p> <p>○より一層の高齢者の社会参加の促進と地域活動への推進を図ることが必要である。</p>				
事業所管課	事業所管課 教育委員会事務局／社会教育課				
主な財源	事業所管課 教育委員会事務局／社会教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	14教育のまちづくり推進事業	
細事業名	01 学校支援地域本部事業				決算書
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実	
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-①	執行率	(参考) 当初予算額
5,271千円	5,273千円	2千円	99.9%	5,146千円	
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、学校を核とした地域の教育力の向上と活性化を図る。				
主要な事業・事業及び成果の概要	<p>地域全体で学校教育を支援するため、さまざまな特技や技能をもつた地域の人材を学校支機能として登録していただき、全ての幼稚園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などの活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日 ○実施地域 市内全ての小学校（20校）・中学校（7校）・幼稚園（4園） ○地域コーディネーターの配置 6人（各地域公民館） ○ボランティア登録者数 470人（平成26年度新規登録者数46人） ○ボランティア募集・活動報告 ○広報誌の発行（2回） ○ボランティア活動 <p>＜活動内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援（教科指導補助、総合的な学習の時間の講師、部活動指導支援） ・環境支援（学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等） <p>＜活動実績＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・峰山中学校区 660日／2,272人 ・大宮中学校区 157日／447人 ・網野・橋中学校区 546日／2,326人 ・丹後中学校区 506日／3,087人 ・弥栄中学校区 222日／416人 ・久美浜中学校区 316日／1,226人 				
主な財源	<p>○ 謝金 4,369千円</p> <p>○ 旅費 426千円</p> <p>○ 消耗品・印刷製本費 473千円</p> <p>○ 使用料（有料道路通行料） 3千円</p>				
評価	<p>○学校支援ボランティアとして様々な学校支援活動を行うことで、地域で学校教育を支援する運営本制の構築が図ることことができた。</p> <p>○地域住民の経験や特技を生かす場として、学校的な教育活動等に参加することで、地域の教育力の向上と住民の意欲・能力の活用を図ることができていることから、ボランティア登録者を増やしていく必要がある。</p>				
主な財源	<p>○各種講座（高齢者大学・トレッキング講座及び高齢者大学院）の実施により、高齢者の仲間づくり、生きがいづくりに寄与することができた。</p> <p>○より一層の高齢者の社会参加の促進と地域活動への推進を図ることが必要である。</p>				
事業所管課	事業所管課 教育委員会事務局／社会教育課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	10家庭教育事業		
細事業名	01 家庭教育事業				決算書	
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実		
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ (2)-(1)	執行率		
1,888千円	1,902千円	14千円	99.2%	99.3%		
目的	発達段階に応じた学習機会の提供及びきめ細かな成長の基礎となる家庭教육支援チームによる子育て支援活動を実施することによって、すべての教育の出発点であり子どもの成長の基盤を推進する。	乳幼児期から就学前・学童期・思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施した。また、引き続きPTA活動の支援を行った。	○家庭教育支援チームで講座 ・幼児期子育て講座 ・就学前、学童期、思春期子育て講座	実施回数 2回 延参加者数 89人 実施回数 13回 延参加者数 1,123人	347千円 934千円	1,877千円
主要な事務	・事業及び成果の概要	<家庭教育支援チーム> (各地域公民館6チーム／子育てサポートー46人) 地域や家庭の教育力の低下、子育て支援の孤立化が進み、悩みや不安を抱えている親に対して、きめ細かな家庭教육支援を行うことを目的に、子育て経験者や子育てに興味のある専門的な知識や経験を持つ、趣旨に賛同するメンバーで構成された「家庭教育支援チーム」を各地域公民館で組織し、地域課題に即した子育て支援活動を行う。 ・「手紙で結ぶ家族の絆」事業 （峰山・網野・弥栄・久美浜） ・子育て交流会（全チーム） 実施回数 各1回 延参加者数 586人 実施回数 各1回 延参加者数 22人 ・高校生ど赤ちゃんのふれあい交流事業 （全チーム） ・広報誌発行（全チーム） 発行回数 各1回 ○京丹後市PTA協議会補助事業 ・京丹後市PTA研究大会の開催、各種研修会の参加 PTA安全会掛金助成	○報賞費 ・各種スポーツ大会等審判員謝金 ・各種スポーツ大会入賞記念品 ○需用費（消耗品費、燃料費、食糧費） ○役務費（新聞折込手数料） ○委託料 ・力ヌースプリント春季・秋季開催準備及び大会運営 (5月17日、10月25日) 107人参加 ・市民杯中学生野球大会開催（5月31日～6月1日）市内7校参加 133千円 ・弥栄町文化祭駅伝大会バス運転委託料（11月3日）100人参加 18千円 ・久美浜湾一周駅伝大会運営（11月23日）594人参加 1,103千円 ○備品購入費 ・ノルティック・ウォーキング用ポール 68セット ○負担金、補助金及び交付金 ・近畿高等学校駅伝競走大会（11月15日～16日）1,400人参加 2,050千円 ・あみのハ丁浜ロードレース大会（10月29日）550人参加 1,050千円	58千円 18千円 40千円 268千円 6千円 2,456千円 1,106千円	5,775千円	
主要な財源	評価 ・課題等	主な財源 評価 ・課題等	主な財源 評価 ・課題等	主な財源 評価 ・課題等	主な財源 評価 ・課題等	主な財源 評価 ・課題等

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	10家庭教育事業		
細事業名	01 家庭教育事業				決算書	
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実		
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③ (2)-(1)	執行率		
1,888千円	1,902千円	14千円	99.2%	99.3%		
目的	発達段階に即した子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に着けさせるための家庭の役割などの重要性について、認識を深めさせていたところができた。 ○関係機関との連携により、課題の共有と学習会等への参加促進を図る必要がある。	府補 家庭教育支援基盤形成事業費補助金 (2/3)	607千円	842千円		
主要な財源	評価 ・課題等	主要な財源 評価 ・課題等	主要な財源 評価 ・課題等	主要な財源 評価 ・課題等	主要な財源 評価 ・課題等	主要な財源 評価 ・課題等
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課					

予 算 科 目								01教育費			05社会教育費		06文化財保護費		07遺跡発掘調査等事業					
細 事 業 名								01 遺跡発掘調査等事業								決 算 書				
総 合 計 画				基 本 方 针		IV 生涯学習都市		計 画 項 目				⑤ 歴史文化遺産の保全と活用								
決 算 額		① 最 終 予 算 額		② 不 用 額		③ 最 終 予 算 額		④ 基 本 方 针		⑤ 生涯学習都市		⑥ 取 手		⑦ 施 工 者		⑧ 決 算 年 度				
目的	2,853千円	3,454千円	601千円	82.5 %	2,134千円	2,144千円	10千円	99.5 %									2,129千円			
主 要 な 事 務	京丹後市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することにより、市内の遺跡を高める。 ・市民及び来訪者のために「京丹後市史」や文化財の調査成果を周知する講座並びに市制10周年記念の特別展示・文化財公開等を開催した。また、丹後・東海地方の文化交流調査事業を実施した。平成27年度に京都文化博物館で開催する「日本のふるさと大丹後展」に関する企画委員会・資料調査、準備等を行った。															○発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得たところ、開発等による現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、開発に間に合う。				
主 要 な 事 務	○文化財セミナー ・第1回（6月11日） 参加者60人 ・第2回（6月12日） 参加者130人 ・第3回（7月28日） 参加者50人 ○「京丹後史博士」育成講座 外部講師（7人）報償費・費用弁償 178千円 ・金12講座 延べ受講者数288人 ○綿野郷土資料館まつり 「織りの実演」謝礼（2人） 18千円 ○京丹後市制10周年記念文化財特別公開 監視員謝礼（6か所） 90千円 ・10月4日 3か所 参加者各100人 ・10月5日 3か所 参加者各80人 ○京丹後市制10周年記念特別展「丹後前衛一小牧源太郎・上前智祐展」観覧者344人 424千円 ・会期：10月4日～10月26日 展示図録・小冊子印刷費、展示図録原稿作成謝金（1人）、展示指導謝金（1人） 424千円 ○京丹後市制10周年記念・但馬國府・国分寺館連携事業「丹後VS但馬」 892千円 ・会期：9月13日～11月9日 記念講演会（10月30日） 講師739人 892千円 ○丹後・東海地方の文化・方言等関係調査事業 ポスター・チラシ・冊子印刷費、美術運送・資料調査職員旅費等 335千円 報告書原稿作成謝金、資料調査旅費等 878千円 ○「日本のふるさと大丹後展」開催準備 企画委員会（3回）謝金・費用弁償、映像編集委託料、資料調査旅費等 497千円 ■ 平成27年度への繰越し事業（「丹後・東海地方のことばと文化」印刷費 19千円 諸収入 京丹後史博士育成事業資料代 19千円															○開発が計画されている地区において試掘調査を実施したことにより、開発時の埋蔵文化財の調整を行つたための基礎資料を整理することができる。 ○将来的開発に備えて円滑な調整と文化財の保護活動に向けた確認調査を行つたため、市内遺跡の分布調査・範囲確認調査を行つていい必要がある。				
主 要 な 事 務	評価 ・課題等															○開発が計画されている地区において試掘調査を実施したことにより、開発時の埋蔵文化財の調整を行つたための基礎資料を整理することができる。 ○将来的開発に備えて円滑な調整と文化財の保護活動に向けた確認調査を行つたため、市内遺跡の分布調査・範囲確認調査を行つていい必要がある。				
主 要 な 事 務	事業所管課 教育委員会事務局／文化財保護課															評価 ・課題等				

細 事 業 名			01 文化財保護啓発事業		02文化財保護啓発事業		決 算 書									
総 合 計 画			基 本 方 针		IV 生涯学習都市		計 画 項 目									
決 算 額		① 最 終 予 算 額	② 不 用 額	③ 最 終 予 算 額	④ 基 本 方 针	⑤ 生涯学習都市	⑥ 取 手	⑦ 施 工 者	⑧ 決 算 年 度							
目的	2,853千円	3,454千円	601千円	82.5 %	2,134千円	2,144千円	10千円	99.5 %	2,129千円							
主 要 な 事 務	京丹後市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することにより、市内の遺跡を高める。 ・市民及び来訪者のために「京丹後市史」や文化財の調査結果を周知する講座並びに市制10周年記念特別展示・文化財公開等を開催した。また、丹後・東海地方の文化交流調査事業を実施した。平成27年度に京都文化博物館で開催する「日本のふるさと大丹後展」に関する企画委員会・資料調査、準備等を行つた。 ○文化財セミナー ・第1回（6月11日） 参加者60人 ・第2回（6月12日） 参加者130人 ・第3回（7月28日） 参加者50人 ○「京丹後史博士」育成講座 外部講師（7人）報償費・費用弁償 178千円 ・金12講座 延べ受講者数288人 ○綿野郷土資料館まつり 「織りの実演」謝礼（2人） 18千円 ○京丹後市制10周年記念文化財特別公開 監視員謝礼（6か所） 90千円 ・10月4日 3か所 参加者各100人 ・10月5日 3か所 参加者各80人 ○京丹後市制10周年記念特別展「丹後前衛一小牧源太郎・上前智祐展」観覧者344人 424千円 ・会期：10月4日～10月26日 展示図録・小冊子印刷費、展示図録原稿作成謝金（1人）、展示指導謝金（1人） 424千円 ○京丹後市制10周年記念・但馬國府・国分寺館連携事業「丹後VS但馬」 892千円 ・会期：9月13日～11月9日 記念講演会（10月30日） 講師739人 892千円 ○丹後・東海地方の文化・方言等関係調査事業 ポスター・チラシ・冊子印刷費、美術運送・資料調査職員旅費等 335千円 報告書原稿作成謝金、資料調査旅費等 878千円 ○「日本のふるさと大丹後展」開催準備 企画委員会（3回）謝金・費用弁償、映像編集委託料、資料調査旅費等 497千円 ■ 平成27年度への繰越し事業（「丹後・東海地方のことばと文化」印刷費 19千円 諸収入 京丹後史博士育成事業資料代 19千円															評価 ・課題等



京丹後市教育フォーラム（平成26年12月13日開催）